

第9回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和元年9月25日(水)	
		場 所 : 菱刈庁舎3階中会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時50分 閉会	
	教育長 森 和 範 教育委員 永 野 治 教育委員 川 原 惟 昭 教育委員 長 野 則 夫 教育委員 久保田 悦 子	議場に出席した者の氏名	総務課長 万 膳 正 見 学校教育課長 松 元 浩 幸 社会教育課長 橋 本 欣 也 スポーツ推進課長 田 中 健 一 給食センター所長 丸 目 良 平 書記 浅 山 典 久 書記 中 原 百 恵
議事日程	別紙のとおり		
審 議 状 況			
(森教育長) ただいまから令和元年第9回定例教育委員会を開会します。 (浅山係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。 (森教育長) 「令和元年第8回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。 (浅山係長) 令和元年第8回定例教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告) (森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。 (全員) ありません。 (森教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。 (全員) はい。 (森教育長) 令和元年第8回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。 教育長報告については、お手元の8月26日から9月24日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。 (別紙「諸般の報告」により日を追って報告) (森教育長) 続きまして、委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、永野委員お願いいたします。 (永野委員)			

はい。今、教育長の報告にもありましたが、我々教育委員にとっては、曾木小学校が最後の学校訪問ということで、非常にしまりのある学校訪問で終わったなと感じました。

ただ、9月の学校訪問は夏休みあけということで、いけないことですが、我々も中弛みしますし、1年目の校長の場合は、できるだけ早い時期に学校訪問をしたいという気持ちが個人的にあります。

2年目・3年目の校長先生方は、今までの集大成がどうなっているのかということで、後の方でもいいんですけど、できれば、早い時期に計画を立てていただければ幸いかなと感じました。

やはり、5月・6月頃が一番いいような感じがしますが、今回は、色んな日程もあったのでしょけれど、各校長先生方も内容等とか素晴らしい経営学をもっていらっしやいましたので、非常によかったな思いながら、学校訪問を終えることができました。ありがとうございました。

それから、春風亭柳之助独演会は、社会教育課が推進されているというのがありますが、地元出身の真打の方々は、文化面で大いに活用できるということで、素晴らしいなあと感じました。大口の方で定期独演会というのができればいいなと感じたところです。伊佐に定期的には来ていると思いますが、一人一人の定期独演会を計画したらどうかなと感じました。来ている方々は女性が多くて、時期もあると思いますが、全国にも落語ファンが増えていますので、もっと幅広い年齢層に来てもらったらよかったのに、ちょっともったいなかったなという感じがしました。

あとは、中学校の体育大会ですけども、教育長も言われたように、私どもは最初、大口中央中学校の開会式に出まして、あまりよすぎておとなしく感じた部分もありましたが、入場行進などの姿勢もよく非常に整然とまとまって、ものすごくよかったなと思いました。その前のミーティングですが、校長先生、先生たちを中心に綿密かつ真剣に実施されていて、いつになく集中していたような気がしました。だらけた人もいなくて、選手宣誓も男女でしたが、元気もよく非常にしまった体育大会になったのではないかと感じました。

そのあと、菱刈中学校にも行きましたが、見違えるほどよくて、子どもたちも最後の最後まで一生懸命走っている姿を見ると、本当に変わったなと感じました。これから非常に期待の持てるいい学校経営を校長がされているということを見させていただきました。

最後は、23日の南永小学校の運動会に行きましたが、地域の方々も一体になって一生懸命参加されていましたし、近隣の各小学生たちがたくさん応援参加をされていたので、地域豊かで非常にまとまったいい運動会だったなと思いました。

私の方は、以上でございます。

(教育長)

はい。ありがとうございました。では、川原委員お願いいたします。

(川原委員)

はい。私も9月に入ってから最後の学校訪問ということで、2校訪問しましたが、どうしても2校比べてしまうといいますか、1歩足を踏み入れた時に、感じる空気というのを無意識のうちに比べてしまうというのがあるわけですけども、本城小学校と曾木小学校、特に違いがあり過ぎて、子どもたちもですが、先生たちの元気さも曾木小学校に比べると、本城小学校はちょっと伝わってくるのが弱かったかなという感じを受けました。

それと、学校訪問は、やっぱりどうしても1学期に終わりたいというのが希望です。夏休みが終わってからの学校訪問は、私どももだらけますけれども、学校の方も新年度スタートしてからすぐの学校訪問の緊張感といいますか、伝わってくる部分も違ってくるのではないかなということで、昨年度も9月に入ってからありましたが、1学期に済ませるものなら、済ませて欲しいなという感じを受けました。

それから、中学校の体育大会ですが、大口中央中学校はやはり人数が多いだけに、盛り上がりなり、非常ににぎやかで、昔の体育大会を思い出すような人数で、華があるといいますか、そういったものを感じました。

それから、菱刈中学校ですが、以前の菱刈中学校の体育大会を知っているだけに、先生たちもですが、見ていてその様変わりにびっくりするぐらい、ピリッとしている部分が我々にも伝わってきましたし、

子どもたちも真剣に取り組む姿というのが本当に伝わってきました。以前は、体育大会なのか、今日は何の日なのかというぐらいだらけた体育大会でしたが、ここ数年、去年もそうですけど、見違えるぐらいよくなりました。特に、選手が各レーンに待機しているときに、人数が少ないので3人か4人ぐらいしか走りませんが、呼ばれると手を挙げて礼をするというところは、昔はとてもしゃないですが、見られた姿ではありませんでしたが、それがあるというのも、きちんと躰けられているのを感じました。よくなったなと思うと同時に、学力もさることながら、体育面でも一本芯が通っている感じをうけました。以上です。

(教育長)

はい。ありがとうございました。では、長野委員お願いいたします。

(長野委員)

はい。学校訪問の最後が曾木小学校でしたが、素晴らしい終わり方だったと感じました。中学校の体育大会は、仕事の関係で行けませんでした。10月13日に緑門づくりの反省会で、校長宅に呼ばれてたくさん飲みましたけど、そこで驚いたのは、OBの高校生の保護者の方々が結構何人か来ていて、緑門づくりをされているのを見て、びっくりしました。曾木小学校の事務職員さんの子どもさんも菱刈中学校に通っていて、びっくりすることでした。菱刈中学校創立40周年の時から始めた緑門ですけど、今回で第52回、12年間続いているということは、「これからも続けていってもらいたい。」という話をしながら盛り上がることでした。一つ感じたのが、校長先生が変わられまして、教頭先生もちょっと明るくなったんじゃないかなというのを感じました。

それから、今ありましたように、南永小学校の運動会にも参加させていただきましたが、最初の子もさんたちの応援のときに、校長先生が最後の運動会ということで、サプライズで子どもたちがエールをおくって、先生たちが「哲ちゃん校長、最後の運動会」とあって、小規模校というか、ものすごく子どもと校長先生と先生方もそうですけど、信頼関係ができていい小学校で、いい運動会だなというのを感じました。あとは、地域の方々が一緒になって、南永小学校の運動会を盛り上げていましたけど、永野委員とも言っていましたけど、議員さんの参加がU議員さんしか来られてなくて、去年はもうちょっと何人かいらっしゃったんですけど、後半来られていたかもしれません、議員さんたちも参加していただけたらなというのをちょっと感じることでした。以上です。

(教育長)

はい。ありがとうございました。では、久保田委員お願いいたします。

(久保田委員)

はい。ほとんど皆さんがおっしゃったのと一緒なんですけど、菱刈中学校の体育大会、開会式から参加させていただいたのですが、本当にみんなすごく真剣な表情で、朝礼台に人が上がると、砂と靴音しかしないぐらいすごく静かな空気が流れる中で、みんなそれぞれ緊張した顔付きで取り組んで、今までの成果をあそこですごく感じて、ちょっと感動して涙が出そうなくらい、昔を知っているだけに、これからは色々な行事もありますので、それに向けて子どもたちもすごく自信になって、やる気も出てくるんじゃないかとなというのを感じた開会式でした。

大口中央中学校の方も、すごく人数が多いですけど、みんな先生方、生徒たちもそれぞれ運営がうまくいくようにきびきびした動きで、すごくよかったです。以上です。

(教育長)

はい。ありがとうございました。大口中央中学校の体育大会で倒れた子は怎么样了。

(久保田委員)

はい。あとからまた、参加していました。

(永野委員)

教育長がいたときも倒れたのですか。

(教育長)

はい。

(永野委員)

開会式のとて、一人倒れたんです。

(教育長)

そうですか。

(永野委員)

校長の話が終わって、倒れ方が早かったです。

(久保田委員)

短距離走が終わってからでしたね。ちょっと待っている間に具合が悪くなって。

(永野委員)

担架で運びましたよね。

(教育長)

はい。ありがとうございます。南永小学校の運動会は、たんぼぼの運動会とちょうど重なりましたので、議員さんたちの参加が少なかつたと思います。

(永野委員)

菱刈地区の地元議員さんに参加していただきたかつた。

(教育長)

何人かいますけどね。

(長野委員)

U議員は、自転車できていました。

(教育長)

自転車で来ていましたよ。帰るとき未来館の坂を一生懸命自転車をこいでいて、あれを見たら本当に自分も頑張らないといけないなと思うことでした。

はい。ありがとうございます。

では、議事に進みたいと思います。

今回は、報告事項はございません。付議事件が1件ございます。

これから、付議事件にはあります。

議案第50号「令和元年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

(万膳課長)

はい。定例会資料の3ページをご覧ください。

議案第50号「令和元年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」を説明いたします。

本件につきましては、5ページにございます「伊佐市社会教育関係功労者表彰要綱」の第2条、被表彰者の規定により、社会教育関係功労者として、本市の社会教育、社会体育、芸術文化部門で、概ね10年以上にわたって活動し、その功績が顕著な者や、児童生徒として地域社会における活動が徳に顕著であり他の模範とするにたる者、その他表彰に値する功績又は行為があつた者に対して表彰を行うものでございます。

去る8月16日に、第6条にございます教育長を会長とする「表彰選考会」において審査を行いました。

被表彰者予定者につきましては、資料の4ページに掲載してありますとおり、個人4人を選考したところでございます。この名簿により、本日決定をしていただきたいと思います。

なお、表彰者につきましては、10月19日開催の青少年健全育成大会において表彰式を行う予定としております。

それでは、お名前と推薦理由についてを読み上げたいと思います。

4ページになります。

1番「上白木 正輝」さん、59歳。推薦者は、羽月校区コミュニティ協議会でございます。推薦理由でございます。平成14年4月1日から平成30年3月31日まで、市スポーツ推進委員として16年間校区のスポーツ活動はもちろんのこと、市の社会体育の推進のため尽力され、校区活動、社会教育等に尽力されている。

2番「宮ノ原 修」さん、79歳。推薦者は、羽月西校区コミュニティ協議会でございます。平成22年4月1日より平成30年3月31日まで、羽月西校区コミュニティ協議会の会長として、また、その間に市コミュニティ協議会の会長も兼任され、校区及び伊佐市の活性化に大きく貢献されました。羽月西小学校児童の登校日は、毎日早朝より校門周辺の清掃及び横断歩道での児童の安全確保に努め、また、大きな声での朝のあいさつ等を同年数実施され、校区活性化のため大きく貢献されました。

3番「岩元 克頼」さんでございます。69歳。推薦者は、山野校区コミュニティ協議会でございます。平成20年9月から現在に至るまで、山野小学校通学児童の安心・安全のため、朝登校時の立哨活動に従事しています。また、交通安全協力員として、校区内の防犯パトロール交通安全教室、防犯訓練等に参加し、校区内の各種事故防止に貢献していらっしゃいます。平成2年から山野野畑地区環境保全同好会の会長として、ツツジやアジサイを植栽、草刈りや空き缶拾いを実施し、名所旧跡の景観維持にも尽力されております。

4番「藤田 博信」さん、79歳。推薦は、本城校区コミュニティ協議会でございます。平成17年4月から平成31年3月まで、本城校区公民館活動推進委員会、本城校区コミュニティ協議会の副委員長・副会長として、校区のあらゆる活動の立役者として活躍していただき、気配り・目配り・指導助言など、本城校区コミュニティの発展に大変貢献されております。

以上、4人の方でございます。よろしくお願ひします。

(教育長)

はい。今、説明がございましたが、4名の方の社会教育関係功労者表彰ということで、一人ずついきたいと思いますが、「上白木 正輝」さん、59歳につきましていかがでしょうか。色々な体育の場で活躍されている姿を皆さんよく目にされていると思いますが。

(永野委員)

いいですか。この番号は、優先順位なんですか。

(教育長)

優先順位ではございません。

(永野委員)

わかりました。

(教育長)

表彰に値するとしてよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

次の方ですが、「宮ノ原 修」さん、79歳。宮ノ原さんも羽月西に行かれましたら、朝のあいさつなどいつも目にされている方でございます。

被表彰者としての決定でよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

次に、「岩元 克頼」さん、69歳。山野校区からの推薦であります。市議会議員でもありましたけれども、この方も色々な活動をされております。

表彰でよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

では、最後に、「藤田 博信」さん、79歳。校長先生を退職されてから、本城校区のためにご尽力されていますけれども、表彰ということでよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

はい。近頃ちょっと先生の顔を見ないなと思っているんですよね。ちょっと気がかりですけど。

(永野委員)

ちょっといいですか。

(教育長)

はい。

(永野委員)

橋本課長、あの方は、推薦しなかったの。

(橋本課長)

誰でしょうか。

(永野委員)

瀬戸ノ上さん。

(橋本課長)

瀬戸ノ上さんは、福祉の方で今回表彰をされているので、今回、コミュニティから推薦があがってきていないものですから。

(永野委員)

コミュニティでなくても、普通の団体からでもあげていいわけでしょう。

(橋本課長)

はい。瀬戸ノ上さんは、現役で活動されているところもあって、今回は、コミュニティからの推薦を重視しています。

(永野委員)

要するに、社会教育功労の方だったら、誰でもいいのでしょうか。

(橋本課長)

はい。

(永野委員)

コミュニティは、近年なんですよ。前は、違ったと思います。

色んなところの人が、色んな団体の推薦があって表彰していたから、そのための社会教育功労だと思っただけ。コミュニティに最近絞り出したのですか。

(橋本課長)

絞り出したわけではありませんが、コミュニティ推薦としています。

(永野委員)

推薦の人数制限はないわけだから、可能な人はどんどん表彰していかないと、特に高齢の方は、漏れてしまうと感じました。

(橋本課長)

わかりました。

(永野委員)

福祉の方では、もらわれたのですね。

(橋本課長)

福祉の方で、表彰されています。

(永野委員)

今の話は、私は選考委員をしています、今年県民会議で表彰したのですが、地域の表彰が一回もなく、条件付きにしたのですよ。本当であれば、表彰できなかったのですが、市では表彰するようにしますといった形で条件を付けたわけです。

(橋本課長)

今回、福祉課長とのやりとりの中で、福祉で表彰する関係もあってですね、社会教育ではあげませんでした。

(永野委員)

私は、そういう方々は、どこでもどんどん表彰すればいいのになと思います。

(教育長)

ある程度高齢の方は、優先して推薦・表彰した方がいいかもしれませんね。

(橋本課長)

わかりました。

(永野委員)

概ね10年以上で期間もあると思いますが、皆さん当確になっていますので、該当者がいなくて若い人になるのはわかりますが、若い人は何回でももらえる機会があります。高齢の方で対象になる方には、どんどん埋もれて、もらわずに終わってしまうというのはどうかと思います。県の方の審査は、難しく、市が表彰していないのに、県の表彰をもらうというのはおかしいでしょう。福祉の方でもらえばいいですね。

(橋本課長)

はい。

(永野委員)

できればですね。はい。わかりました。

(教育長)

社会体育も関係しますが、スポーツ推進課長、今度の市民体育祭ではどういう方々が表彰される予定ですか。

(田中課長)

はい。市の体育協会の表彰規程によりましての表彰でございまして、競技団体からあがってくるということになります。

(教育長)

まだ、決まっていないの。

(田中課長)

はい。今日の夜、理事会の方で最終的には決定をさせていただきます。

(教育長)

特に、全国高校総体で優勝した伊佐農林高等学校の「崎山 溪」さんを表彰してほしいなと思っています。

(永野委員)

入るでしょうね。

(田中課長)

はい。表彰の候補にあがっておりますので。

(教育長)

はい。ありがとうございました。

今後、各課の方でも特に表彰して欲しい、特に社会教育課の方ですが、そういう方がいたら早め早めにあげておいて、あとから漏れることがないようにお願いいたします。

(永野委員)

昨年も質問しましたが、コミュニティの場合は、若いのに入っているから、前の課長の話では、校区の会長をした人は、1年でも推薦をしてくださいとっておりましたので、そうかなと思いつながら、校区の会長になるということは功労ですけど、1・2年であがってくるから若い方が多いのかなと思ったりしました。他のところで一生懸命されている方を埋もれないようにしていかないといけないですね。

(教育長)

はい。ありがとうございました。

では、議案第50号については、議決ということでよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

はい。ありがとうございました。

次に委員から提出された動議の討論等に入ります。前もって提出された動議はございませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

はい。ありません。

(教育長)

はい。特にないようですので、以上で討論等を終わります。

次に、その他の件に入ります。

その他の件で、委員の皆さん方から何かないでしょうか。

(全員)

特にないです。

(教育長)

なければ、事務局の方から何かあればお願いいたします。

(橋本課長)

今、よろしいでしょうか。

社会教育課からお願いをしたいと思います。

先ほど配布をしました「令和元年度 伊佐さわやかあいさつ運動標語募集」を行いました。

募集につきましては、小学生が14校で、86点応募がありました。それから、中学校が3校で、18点。それから、高校生は、自由参加で明光学園だけが参加し、62点ありました。それから、一般が10点の176点があったわけですが、本日お願いをしたいのは、先ほど配布しております中で、最優秀と思われるものについて、1点だけお選びいただいて○をしていただきたいと思います。それから、優秀賞に該当すると思われるものについて、右側の方に3点○をしていただいて、今日帰るときまでに提出していただければありがたいなと思ったところです。それで、今回、最優秀賞を1点、集計によって採点をしまして決定をいたします。それから、優秀賞3点を決定して、残りの15点につきましては、優良賞ということで、今度の10月19日の「伊佐市青少年健全育成大会 伊佐市さわやかあいさつ運動推進大会」の方で表彰をさせていただきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、続きまして、そのあとに、さわやかあいさつ運動の10月の活動…。

(教育長)

それは、あとでお願いします。

(橋本課長)

そういうことでよろしくお願いします。

(教育長)

表彰の作品を選考するというのですが、時間がちょっとありますので、一応これを皆様方を選んでくださって、最優秀賞を一つと、優秀賞を三つということで、集計をお願いしてみましようか。

(永野委員)

みんな、いいですね。

(橋本課長)

ちなみに、今日ここにあげさせていただいているのは、社会教育課全職員で投票をしまして、それで選ばれたものを今回あげさせていただいております。

(教育長)

一次審査をしたということでございます。

小学校で、一番たくさん応募しているところはどこですか。

(橋本課長)

はい。これは、学校の方で、各学年1個ずつ選んでいただいております。

(教育長)

そういうこと。

(橋本課長)

ですから、当然、大口小学校が一番多いということになります。

明光学園の高校は、応募は自由参加になるものですから、出てきたものは全部ということになります。

高校生の62点というのは、高校生が全員書いて出してくれたものの中から1点を選ばさせていただいております。

(教育長)

すみません。この会議で決定しようと思いましたが、時間がかかりますので、定例教育委員会の会を閉じたあとで、やらせてくださいませんか。

(全員)

はい。わかりました。

(橋本課長)

よろしく願いいたします。

(教育長)

では、その他なければ、令和元年第9回定例教育委員会を閉会します。

(浅山係長)

姿勢を正して下さい。一同礼。